

坪井住之江GI連続Vだ

住之江に秋を告げるG I「第49回高松宮記念」は9月2日に開幕する。

3、4月に行われた太閤賞を含め、住之江では今年3度目になるG I。グランプリ出場をめぐるマネーバトルも終盤に入り、激しさを増してきた。本紙では注目選手を3回に渡って紹介する。

5年ぶりGPIへ
坪井康晴(43—静岡)

住之江G Iの春秋連覇がかかる。4月の太閤賞では峰竜太、石野貴之ら退けて予選トップを獲得。準優、優勝戦とインから堅実な立ち回りを見せ、優勝を飾った。巡ってきたチャ



ンスは逃さない。同じ静岡支部の

徳増秀樹、菊地孝平のような派手さはないが、豊富なキャリアに裏付けされた勝負強さが光った。

その太閤賞以外にも、活躍を見せている。今年 は地元の浜名湖で、3節連続優勝の離れ業を演じた。「ここ何年かは調子が悪かったので、今の調子を崩さないようにしっ

坪井康晴の住之江最近5節成績

年	月	大会	格	成績
19	9	高松宮記念	G I	予選敗退
//	12	グランプリS	SG	予選敗退
20	9	高松宮記念	G I	予選敗退
//	11	タイトル	一般	優出2着
21	4	太閤賞	G I	優勝

グランプリSはグランプリシリーズ

かり走りたい」。安定感と決定力がいいバランスでかみ合っている。

現在、賞金ランクはベスト18のボーダー付近にいる。16年以來のグランプリ出場を狙うには、ここからが正念場。9月以降はG Iレースのあっせんが多く、さらに、10月のSG平和島ダービーの出場が決まっている。この高松宮記念で一気に弾みを付けたい。

高みを目指せ!!

Aim high!!

上

9月2日から住之江ポートGI高松宮記念